



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2022年  
8月1日  
発行

第142回

「格言講座」

## ～閑散に売りなし～

### 初めに

「閑散に売りなし」は、私が好きな株式市場の格言です。閑散は、株式市場が大きく動いたあとに市場が動かなくなった状況をいいます。経験則的にはこうした局面から次の上方波動が始まることがあり、保有株を売ってしまいその波動を見逃すことを戒めるものです。現在の株式市場はこの閑散の状態にあり、ここから新たな上方波動が生まれる可能性があるかとみています。今回はそう考える理由をお話しします。理由は2つあります。ウクライナ戦争と米国の金融政策です。

### ウクライナ戦争は膠着状態

今年ここまでの世界の株式市場にとって悪材料となっているのはウクライナ戦争と米国の金融政策です。しかし、どちらについても微妙に変化が出てきています。ウクライナ戦争では、ここにきて米国からのウクライナへの武器供与などによってロシアの進撃が止められた形となっています。テレビなどでは戦争に関する報道もめっきり減りました。株式市場でも取り上げられることが減り、まさに閑散の状況ですが、見方を変えると状況は悪化もしていない、むしろウクライナが健闘しているとも言えます。株式市場にとって、どちらかと言えばの話ですが、望ましい方向に動いていると思います。

### 今後の金融政策は状況次第

先日のFOMC後の記者会見で、パウエル議長は現在の異例の金融政策について状況次第だと含みを持たせました。また、次の利上げ幅に関して明確なガイダンスを示すのではなく、政策は会合ごとに設定される、と説明しました。これにより、FRBは政策についてより広いフリーハンドを持つことができます。これは金融政策のハト派方向への修正を意図したものでしょう。確かに商品市場では原油や銅など主要商品は高値から下落しており、ここまでのFEDの引き締め策が奏功しているとパウエル議長は考えているのでしょうか。もしパウエル氏が金融引き締め策の縮小に踏み込めば、米国のみならず世界の株式市場にとって大きなプラスです。

### 世界の株式市場は上昇へ

このように、ウクライナ戦争・米国の金融政策という株式市場にとっての悪材料は小さくなる方向にあるとみています。これにより、株式市場は世界的に上昇に転じると思います。



チーフストラテジスト  
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。